

3月のスケジュール

月	火	水	木	金	土	日
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21 春分の日	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

保健師より

今年度も残すところあと1ヶ月となりました。芝生で咲く河津桜を見ると、春の訪れが待ち遠しいですね。今年は子どもたちとお花見できたらいいのにな、そんなことを思いながら毎日出勤しています。

さて、3月は暖かくなると花粉症が気になりますね。新型コロナウイルスとの見分けも見ずかしい所です。風邪とは違う透明な鼻水や、目の痒みなどの症状が出てきたら花粉症かもしれません。早めに耳鼻科受診することをおすすめします。

新年度も良い形でスタートできるよう、この3月も子どもたちの健康状態に気をつけていきたいと思えます。

○ 2月の感染症：COVID-19 15名
ウイルス性胃腸炎 4名

○ 0歳児乳児健診 つばみ組のみなさんは、なるべくお休みされないようお願いいたします。

March 2022

2022.3.1 発行

small alley post

東香会

保育理念 『いきいき』

合言葉 『すべて子ども中心』

基本保育方針

『私たちは、今ここで「こどもたちのたからもの」を大切にします』

『地域で安心して子育てができるように！』

『子どもの成長、発達に寄与する人はすべて保育者』

3月の保育主題

『ふくらむ心に 夢の花』

1年のまとめ 次年度の助走

「みんながいないとつまらない」

立春を過ぎても冬の寒さが残っていた2月、やっと春らしい柔らかい風を感じられるようになりました。こども園の下にある河津桜ももう少しで満開を迎えそうです。

この2ヶ月間は一部休園を繰り返し、静まりかえった日々が続きました。small alley内だけではなく、世の中全体で大人のため息がやけに聞こえるような、そんな感覚を覚えたのは私だけではないはずです。自宅待機期間を終え、子どもたちの元気な声と澆刺とした姿が園に戻ってきた時、自然と笑顔が溢れたのを思い出します。久しぶりに再会した子どもたちに「元気だった？」と尋ねるとこんな言葉が返ってきました。

子「つまらなかった」

私「なんで？」

子「だってさ、みんないないだもん」

なるほど…。そしてその場からスッと離れたその子は、友だちがいる机に向かい楽しそうに会話する姿が印象的でした。今の子どもにとって友だちという存在がどれだけ大きいものを改めて感じました。新しいおもちゃや魅力的なモノがどんなに溢れていても、一定の時間が経つとすぐに飽きてしまいます。しかし友だちは違います。同じ人と何年も共にしながら、くっついたり離れたりして、長い年月を一緒に過ごすこともあります。それは互いに変わり続け、その関係性にゴールがないからでしょうね。

友だちがいれば面白くもなるし、喧嘩になることもある。親子関係とは異なり、友だちは一緒に遊ぶことを育児だなんて思っていませんし、育てる責任もありません。また、その関係性は壊そうと思えばいつでも壊すこともできますが、この小さな社会（こども園）の中で自ら気の合う仲間を見つけて築いた関係性は大切にされるべきものだなと思いました。

コロナウィルスの出現で子どもたちが混ざり合う場を失っています。休園や休校、オンライン授業などで同世代が肌と肌で感じて関係性をつくるのが困難になっているなど不安になります。この未成熟な時期だからこそ生まれる関わりやエラーをこの乳幼児期にできないことがどんな影響をもたらすのか、慎重に見極めながら、その当たり前だった子どもの生活を守っていききたいですね。

子どもたちの方が直感で友だちとの豊かな時間が大切だと気づいていると思います。「帰りたくない！」「まだ遊びたい！」という言葉にその思いが詰まっている気がします。もちろん家に帰らなければいけないので帰るのですが、子どもたちの本能からでる言葉に日々様々なことに気づかされます。

けやき組の子どもたちとはあと1ヶ月です。どうにか休園にせず、一緒に過ごしたいものです。

渋谷東しぜんの国こども園 園長
名古屋 彩佳

保育エピソード 「自分の心地の良い場所で」

つばみ組の部屋で紙芝居を読んだ時。初めて見る紙芝居に興味津々で近づいてじっと見てみたり、それに気がつき“なにになに？”と集まってきた子どもたち。そんな中、紙芝居とは逆の方向に1人進んでいくSさんがいました。“あまり気にならなかったのかな？”と思い見守っていると、少し離れたところに落ちていたクッションを持ち上げ「いっし、いっし」と言いながら運んでいる姿がありました。クッションを一つ運び終えると、もう一つ運んできて、その間にちょこんと座ります。肘掛けのように両腕を置いて、自分で作ったその場所でニコニコと嬉しそうに笑いながら紙芝居を見ていたのです。

私はその時初めて、Sさんは自分の心地の良い場所で、心地の良い見方で紙芝居を楽しんでいたのだなあと気がつきました。それと同時に自分で自分の“心地よいを作る方法”がわかるのだなあという驚きもありました。

また、Sさんの場所からはまっすぐ絵は見えない位置でしたが、読む声は聞こえ、もしかすると紙芝居を楽しむみんなの様子も見たかったのかもしれないなと思いました。紙芝居や絵本の楽しみ方は、まっすぐ見て聞いて、絵や物語を楽しむだけではないですね。紙芝居だけに限らず、その時々それぞれの子どもが感じる心地よさや楽しさを大切にしながら、それをこれからも見守っていきたいなあと思いました。

今月のsmall alley play ground ピックアップスポット

そばだ家

住所：東京都 渋谷区3-14-4

蕎麦が好きでよく食べます。街のお蕎麦屋さんや各地の美味しいお店にも行きたいなと思いつつ、仕事帰りなどにはよく立ち食い蕎麦を利用します。出勤途中に見つけたお洒落な立ち食い蕎麦のお店。立ち食いらしからぬスタイリッシュな内装や十割の蕎麦粉を使っているといった情報を見かけてとても気になっていました。ある日タイミングが合ったのでお店に行ってみると、揚げ玉の中に桜海老が入っていたり、カレーに山椒が効いていたり、さらにミニ井のお米にもこだわっていたりと、蕎麦以外にも気になるポイントもたくさん。それ以来通うようになりました。また、季節ごとのメニューにもそれぞれこだわりが見られて、久しぶりに行った時にどんなメニューがあるかな？と覗いてみるのも楽しいです。

